

1. 保育所待機児童対策と少子化対策について

政新会 田中 正剛
 一般質問 参考資料
 平成30年12月6日(木)

図1：5歳以下人口と出生率の推移

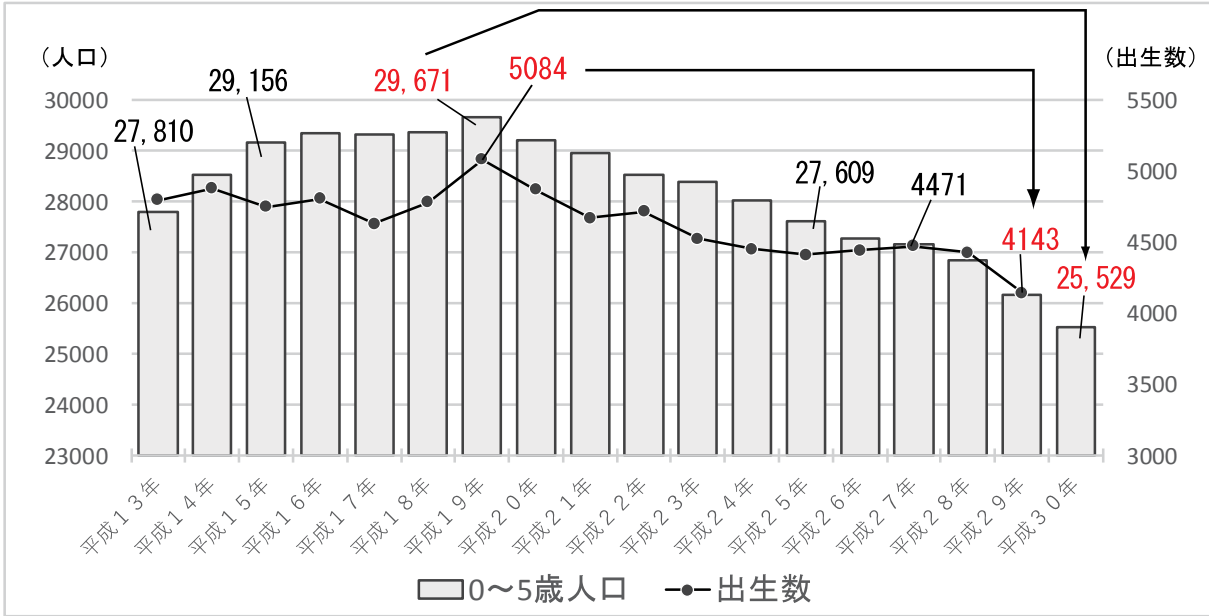


図2：保育所・認定こども園・地域型保育の定員と待機児童数の推移

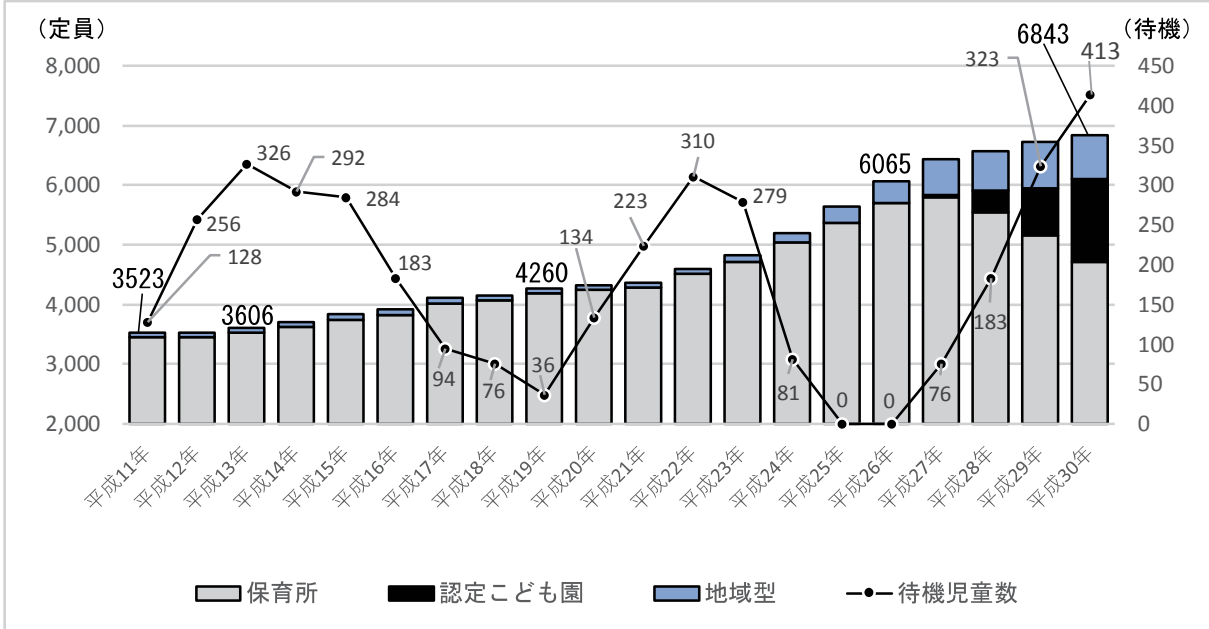
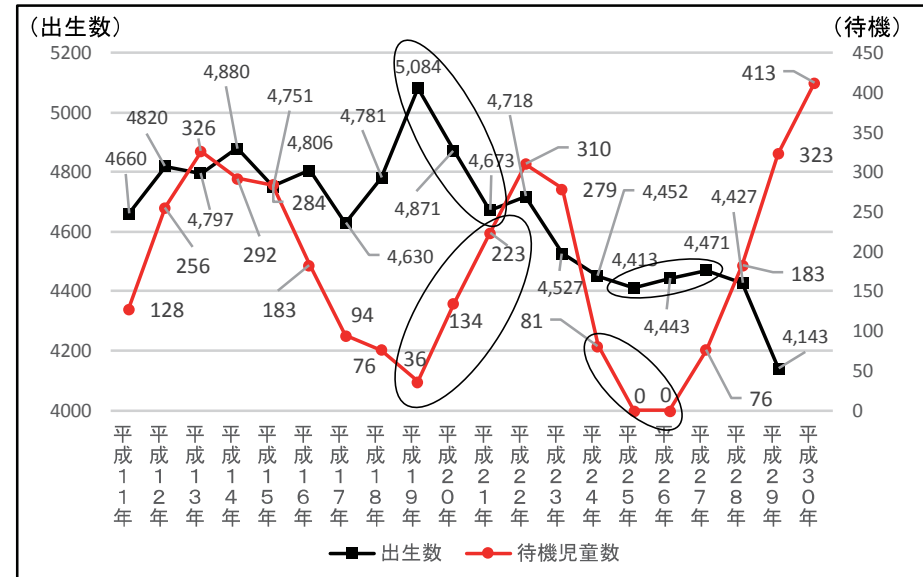


表1：利用保留児童数(11月1日現在)と兄弟在籍保留数(12月利用調整後)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
保育所	416	233	130	92	46	16	933
内訳							
公立	189	102	62	35	20	8	416
民間	227	131	68	57	26	8	517
認定こども園	109	74	37	32	37	1	290
内訳							
幼稚園型 計	0	3	8	12	12	0	35
幼保連携型 計	109	71	29	20	25	1	255
地域型保育	23	16	6				45
内訳							
小規模A型	22	12	5				39
小規模B型		1	1				2
小規模C型							
家庭的保育		1					1
事業所内保育	1	2					3
保留児童合計	548	323	173	124	83	17	1268
兄弟在籍保留児童	202	17	9	8	3	2	241

図3：待機児童と出生数の推移



2. 学校体育館へのエアコン設置について

■平成30年9月議会で教育委員会から示された課題

○課題1：設置費用や受変電設備の増設に係る初期費用に要する財源

⇒総務省「緊急防災・減災事業債」の活用により市の実質負担額は3割に軽減

○課題2：保守や光熱費のランニングコストなど設置後の経常的な経費の増大

⇒利用料の徴収（2500円/h）による税負担の軽減

○課題3：構造上の問題や室外機の設置場所の有無 ⇒西宮市でも対応可能



○課題4：空調運転時の騒音レベルの検証 ⇒問題なし。



LPガスを使用

○課題5：技術的な面において設置が可能かどうかの検証



私立大学体育館の方式を採用。

送風機の使用により風向きを下向きに変える方式で効果有。

■表2：猛暑日等日数の経年変化（神戸地方気象台）

	猛暑日 (最高35℃以上)	真夏日 (最高30℃以上)	平均気温 30℃以上	熱帯夜 (最低25℃以上)
2018年	12日	61日	18日	51日
2017年	3日	60日	9日	52日
2016年	10日	62日	9日	50日
2015年	3日	42日	13日	30日
2014年	1日	44日	3日	37日
2013年	8日	66日	16日	51日
2012年	8日	61日	10日	57日
2011年	2日	66日	6日	61日
2010年	7日	72日	21日	57日
2010～2018年	6.0日	59.3日	11.7日	49.6日
1890～2010年	—	年平均54.9日	—	—

※1890～2010年のデータは、理科年表より引用

■表3：熱中症における病院搬送等の状況（平成30年8月31日まとめ）

	幼	小	中・高・特	合計
救急搬送（救急車）	0	0	14	14
病院受診（タクシー等）	0	2	10	12
帰宅後に病院受診	0	7	11	18
合計	0	9	35	44

（教育委員会提供資料より作成）